

Italo Svevo

La coscienza dello zen

Italo Svevo e l'arte di smettere di fumare

ゼンの意識 イタロ・ズヴェーヴォと禁煙の嗜み

講演者：Riccardo Cepach 氏

トリエステ・ズヴェーヴォ博物館館長

Museo Sveviano, Trieste



エットレ・シュミツ、またの名をイタロ・ズヴェーヴォ (1861-1928) は 20 世紀において極めて独創的で革新的な作家のひとりである。出世作『ゼーノの意識』では主人公ゼーノ・コジーニと精神分析治療との関わりを中心に、主人公がノイローゼと病的な煙草への執着から回復しようと禁煙を宣言する一方、口は煙草を吸い続ける姿が描かれる。独特の奥行きある意識の描き方とアイロニーに富んだ語りによって生まれるパラドックスは、「対立的なもの (善と悪、病気と健康、強さと弱さ) が人間の意識のなかでは分ちがたく共存している」という一種「東洋的」な思考を際立たせている。

場所：東京外国語大学 4F 総合文化研究所 422 教室

Aula 422, Institute of Transcultural Studies Tokyo University of Foreign Studies

日時：2014 年 4 月 22 日 (火) 17:45 - 19:15

Mar. 22 aprile 2014 17:45-19:15

言語：イタリア語 italiano (通訳あり)